

□平成14年度事業報告

I 環境保全活動促進事業

1 研修会・交流会等の開催

(1) ふくい環境シンポジウム

環境保全活動の普及とパートナーシップの拡大を図るため、環境シンポジウムを県と共催した。

開催日 平成15年3月15日(土) 13:30～16:30

場所 福井県国際交流会館多目的ホール(福井市)

内容 基調講演

演題:「笑いの中で考える循環型社会」

講師:林家ライス・カレー子 さん(漫才師)

パネルディスカッション

コーディネーター:加藤隆夫 氏(仁愛大学 人間学部教授)

パネリスト:林家ライス・カレー子 さん(漫才師)

高橋昌之 氏(福井日本電気株式会社社長)

溝口淳 氏(池田町環境向上推進室係長)

河原はつ子 氏(福井県連合婦人会会長)

参加人数 100名

(2) **新** パートナーシップ交流会

個人から各種団体まで規模や活動内容が多様化している環境保全活動について、団体間等の情報交換をし互いの連携を図るため、交流会を開催した。

開催日 平成15年1月18日(土) 14:00～16:00

場所 福井県民会館205会議室 他(福井市)

内容 テーマ1:地域環境保全活動～取り組んでますか?環境保全活動～

コーディネーター 御嶽義視 氏(天王川美化推進

協議会会長)

参加人数 14名

テーマ2:環境学習～家庭から、地域から環境学習～

コーディネーター 井上哲夫 氏(丹南地域環境研究会幹事)

参加人数 16名

テーマ3:ごみ減量化・リサイクル～身近なところから、ごみ減量化・リサイクル～

コーディネーター 吉田三恵 氏(福井県生活学校連絡協議会運動推進委員)

参加人数 18名

(3) **新** リサイクルバスツアー

自分が出したごみがどのような過程を経てリサイクルされるのか、ごみの流れを追いながら、リサイクルの実態、その役割の重要性を認識してもらい、リサイクルの推進を図るため、リサイクルバスツアーを開催した。

内容 「どうなってるの?家電リサイクル」

土曜日コース 開催日時 平成14年10月5日(土)

場所 廃家電引取場所(日本通運株式会社(福井市))

～家電リサイクルプラント(グリーンサイクル株

	式会社（名古屋市）
	参加人数 43名
平日コース	開催日時 平成14年10月9日（水）
	場 所 廃家電引取場所（日本通運株式会社（福井市））～福井坂井地区 広域市町村圏事務組合清掃センター（金津町）～ 家電リサイクル プラント（ハリタ金属株式会社（富山県福岡町））
	参加人数 44名

(4) 親子環境教室

親子を対象に、環境に関する学習会を開催した。

内 容	「割りばしから紙を作ろう！」		
春江会場	開催日時	平成14年7月27日（土）	10:00～12:00
	場 所	福井県児童科学館（春江町）	
	参加人数	42名（19組）	
敦賀会場	開催日時	平成14年7月28日（日）	10:00～12:00
	場 所	敦賀市立児童文化センター（敦賀市）	
	参加人数	26名（10組）	

(5) 企業研修会

開 催 日	平成14年11月12日（火）	14:00～16:30
場 所	福井商工会議所ビルコンベンションホール（福井市）	
参加人数	約100名	
内 容	「循環型社会形成推進のための法体系」 福井県廃棄物対策課リサイクル推進室 総括主任 穴吹憲男 「E S C O事業の概要と導入事例」 株式会社ガスアンドパワー E S C O事業部長 紫藤悦雄 氏 「地球温暖化防止のための環境自主行動計画について」 福井県環境政策課環境指導審査室 主任 吉川昌範	

2 環境カレンダーの作成

身の回りの生活の中から環境問題を考える機会を増やし、環境保全に関する意識の高揚を図るため、県内の自然環境の写真と環境情報を盛り込んだ環境カレンダーを作成し、会員に配布した。

また、会員以外の希望者に、1部300円で196部販売した。

3 環境アドバイザーの派遣

企業が開催する研修会などに、「福井県環境アドバイザー」を派遣した。

派遣回数	2回
派遣企業	福井日本電気株式会社 福井石油備蓄株式会社福井事業所

4 環境保全活動の啓発

- (1) 「クリーンアップふくい大作戦（6月2日）」を県・市町村等とともに主唱し、会員に参加を呼びかけ、環境美化意識の高揚を図った。
- (2) 県等と連携し、「アイドリングストップ運動」の普及啓発を行った。

- (3) 県等と連携し、「ノーマイカーデー（毎月1日、16日）」の普及啓発を行った。
- (4) 県等が主唱する「ごみスリム・スリム運動」と連携し、リサイクル活動を推進した。
- (5) 新みんなのかんきょう等を活用し、「ごみになるものは断ろう！」キャンペーンを展開した。

II 情報紙発行事業

環境問題や環境教育に関する情報、企業やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報紙を定期的に発行した。

発行回数	4回
発行部数	各2,900部
特集内容	第31号「身近な水辺の生き物を考える」 第32号「ごみ問題を考える4～ごみ減量化・リサイクル」 第33号「地球温暖化を考える4」 第34号「地域に根ざした緑化を考える」

III 表彰事業

環境保全活動のより一層の推進を図ることを目的として、環境保全活動に関し、地道にたゆまぬ努力を続けている個人、団体、学校、企業で、その活動が賞賛に値する者を平成14年度総会で表彰した。

表彰者	個人の部	3名
	団体の部	5団体
	学校の部	3校
	企業の部	1社

IV 普及広報事業

協議会の活動目的、事業内容等を県民に広く周知し新規会員を獲得するため、パンフレットを配布した。また、イベント等で展示するため、協議会PRのぼりを2枚作成した。

また、アースデイふくい2002（平成14年5月26日）、2002越前・若狭の産業フェア（平成14年10月25～27日）等への参加を通じ、普及広報活動を実施した。

V 会議等

下記のとおり会議を開催する。

(1) 総会・講演会

開催日	平成14年5月28日（火）
場所	福井県国際交流会館多目的ホール
内容	総会：平成13年度事業報告および収支決算報告について 平成14年度事業計画（案）および収支予算（案）について 役員改選について 講演会：演題「自然と共存した地域づくり」 講師 財団法人 日本生態系協会 事務局長 関 健志 氏

(2) 役員会

開催日 平成14年5月20日(月)
場所 福井県水産会館小会議室
内容 総会提出議案について

(3) 企画委員会・編集会議

- 開催日 平成14年7月4日(木)
場所 福井県庁6階大会議室
内容 平成14年度事業の実施について
- 開催日 平成14年10月16日(水)
場所 福井県庁6階大会議室
内容 環境カレンダーの作成について他
- 開催日 平成14年12月19日(木)
場所 福井県庁6階大会議室
内容 ふくい環境シンポジウムについて他
- 開催日 平成15年3月27日(木)
場所 福井県水産会館4階研修室
内容 平成14年度事業報告(案)および収支決算(案)について
平成15年度事業計画(案)および収支予算(案)について
情報紙(第35号)の編集(案)および特集テーマについて

(4) 表彰選考会

- 開催日 平成15年3月27日(木)
場所 福井県水産会館4階研修室
内容 平成15年度表彰者の決定について